



脳の活性化と集中力を



本校では、6月から全校で朝の会の音読に取り組んでいます。たった1分程度の音読ですが、朝の発声が脳を活性化させ、授業場面でのここという時の集中力を発揮することにつながるのではないかと信じています。

最初の音読教材は、「寿限無（じゅげむ）」で、ご存じの通り古典落語の一節です。教育クリエイターである陰山英雄氏は、脳のはたらきを高める音読は、古典の音読が最も効果的であると言われています。そして、「低学年の子に、内容が分かってないまま読ませて意味があるのか」と質問されることも多いようですが、特に低学年の子は、内容ではなく文章のもっているリズムを好むために、朝の音読の教材は、よいリズムであることが絶対条件であるとも言われます。

一方、子どもに分かりやすく面白い詩は、一度読んだだけで意味が分かってしまい、それを何度も繰り返す必要を子どもたちは感じません。すると、子どもたちに機械的に読まされるだけになってしまいます。リズムよく音読する中で、自然に暗唱してしまう。それが重要だと思っています。実際に、ほとんどの子どもたちが暗唱しています。

また、全校で同じ教材を音読し、暗唱しています。そうすることで、下級生が上級生のまねをしたり、休み時間や家庭学習でも兄弟や友達同士で協力し合ったりすることで、より効果的効率的に暗唱ができています。 「継続は力なり」全校で少しずつ取り組んでいきたいと思っています。ご家庭でも、子どもたちへの賞賛や励まし、よろしくお願ひいたします。7月は早口言葉です。

あいさつの輪が広がってます

東郷小学校では、児童昇降口前で毎朝元気な挨拶がたくさん聞こえてきます。特に、月、水、金の三日間は、運営委員会の子どもたちがTOGO5（レッド、イエロー、ブルー、グリーン、ピンク）の衣装を身にまとい、登校してくる子どもたちに元気な挨拶をしています。立ち止まってきちんと挨拶する子、帽子を取って私の名前をフルネームで言ってくれる子など様々ですが、



全校児童にあいさつの輪が広がるいいなと思っています。

あさがお、ミニトマト成長しています

低学年では、生活科であさがおやミニトマトのお世話、観察をしています。1年生は、朝起きてすぐに「あさがおの水やりに行きます！」と元気に走っていく子どもの姿がたくさんあります。植物を育てるということから、多くのことを学んでいます。



山笠学習すすんでいます



6月に入り、各学年とも山笠学習が本格的にスタートしています。低、中学年では、生活科・総合で「田熊山笠を応援しよう」、5、6年の総合では「田熊山笠を応援しよう」「未来へつなげ!田熊山笠」という単元で、子どもたちが課題意識をしっかりとって学習に取り組んでいます。その中でも、4年生は、山笠で使用する鉄砲を作るために、麦畑の草刈りから麦刈り、鉄砲づくりを行い、田熊山笠振興会の方へ手渡しました。

また、6年生は、福津のイオンモールで、田熊山笠を紹介するポスター掲示やチラシを配ることで、田熊山笠にたくさんの人を呼びたい、山笠のかき手を増やしたいなど、田熊山笠を盛り上げようと主体的に行動しています。子ども山笠の棒締めも終わり、山笠当日がとても楽しみです。

7月の主な行事予定

日	曜日	行事名
2	火	あおぞら集会 (2時間目)
3	水	2年山笠見学
4	木	1年・3年山笠見学
5	金	委員会活動
9	火	4年社会科見学 (1日)
10	水	なかよし誕生会 モニター会
12	金	5年社会科見学 (午前中) クラブ活動
14	日	田熊山笠追い山 13:15頃下校

日	曜日	行事名
16	火	振替休日 (14日山笠代休)
17	水	全校5時間授業、延長掃除 6年宗高学習会事前説明
18	木	1~5年4時間授業13:30下校 6年5時間授業、給食終了
19	金	終業式
23	火	三者面談、6年宗高学習会
24	水	三者面談、6年宗高学習会
25	木	三者面談、6年宗高学習会
26	金	三者面談